

研究名：流死産後の妊娠予後に影響する因子に関する検討

国立成育医療研究センター（周産期・母性診療センター）では、流死産後の妊娠予後に影響する因子に関して検討するための疫学研究を実施しております。概要を下記に記しますので、どうぞご理解の程よろしくお願いたします。

1．研究の目的

本研究は、流産・死産を経験した女性の次回の妊娠結果が、流産・死産の原因や不育症検査結果とどのように関わるのかを明らかにすることを目的としています。本研究で得られる成果は、流産・死産後の妊娠・分娩管理のために大事な情報になると考えられます。

2．研究の方法

研究対象：当センターで流死産後の妊娠を経験した妊婦さん

具体的には、2005年1月1日から2022年12月31日までに当センター不育症外来を受診した患者さん、あるいは2005年1月1日から2022年12月31日までに当院で死産分娩となった患者さんで、その後の妊娠が2023年2月28日までに当センターで終了した患者さんが対象となります。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日

研究方法：年齢、体格、既往妊娠歴などの母体因子、流死産染色体/病理検査結果、不育症検査結果などと流死産後の妊娠結果との関連性について解析します。

3．研究に用いる情報の種類

診療カルテより、以下の情報を収集します。

- ・母体の年齢、母体の体格、喫煙の有無、既往症、既往妊娠歴など
- ・流死産染色体/病理検査、出生前検査結果など
- ・不育症検査結果
- ・流死産後の妊娠に関する情報

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

本研究の結果は、論文及び学術集会での発表の形で公表します。その際に個人が特定

されることはありません。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、論文及び学術集会での発表後には、情報を除外することはできません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター不育診療科 三井真理
電話：03-3416-0181（内線：7552）

研究責任者：

国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター妊娠免疫科 小澤伸晃
電話：03-3416-0181（内線：7325）